

音楽との出会いをお届けします。



ドヴォルザークの才能を称えていたブラームスは、この若く貧しい作曲家を援助するため、作曲を委嘱したり、出版社を紹介したりしていたそうです。 ハンガリー舞曲集がヒットしたブラームス。 出版社はスラヴ舞曲集の作曲をドヴォルザークに勧め、これも見事にヒット。こうして世に出たドヴォルザークは、偉大なる老作曲家ブラームスとの交流を通じて、お互いがとても似ていることに気づいて驚きと戸惑いを覚えたそうです。 指揮は、2023年4月からびわ湖ホール芸術監督を務める阪哲朗。ドイツを中心に数多くの劇場でオペラを指揮し、その豊富な経験と知識で世界レベルのオペラ、オーケストラ・プログラムを日本で上演することに意欲を燃やしています。 ブラームスとドヴォルザーク、似たもの同士2人の作品からお互いを称え合うような面目躍如のプログラムを、阪&京響の共演でお楽しみください!

指揮 ◆ 阪 哲朗

阪 哲朗はヨーロッパでの客演も数多く、おもにドイツ、オーストリア、スイス、フランス、イタ リアなどで約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれて成功を収めている。日本国内におい ても、多くのオーケストラ公演やオペラ公演を指揮。現在、山形交響楽団常任指揮者、びわ湖 ホール芸術監督を務めている。これまでに、ビール市立歌劇場専属指揮者、ブランデンブルグ 歌劇場専属第一指揮者、ベルリン・コーミッシェ・オーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場音 楽総監督、山形交響楽団首席客演指揮者、レーゲンスブルク歌劇場音楽総監督を歴任。ベル リン・コーミッシェ・オーパーでは、約20演目170回余を指揮。とりわけ、「天国と地獄」、「ファ ルスタッフ」、「リゴレット」などが大きな話題を集めた。また、ウィーン・フォルクスオーパーでは、 同劇場のハイライトとも言うべき「こうもり」を指揮して好評を博した。また、オーストリアのレッ ヒ音楽祭には毎年招かれている。日本国内においては、全国共同制作オペラ・野村萬斎新演 出「こうもり」、びわ湖ホール・中村敬一演出「ばらの騎士」で成功を収めたことが記憶に新しい。 一方、山形交響楽団とは、2020年からベートーヴェン交響曲全曲演奏会、2023年から演奏 会形式オペラシリーズをスタートさせ、インターネットでの配信も行い、新たなファンを獲得し ている。京都市出身。京都市立芸術大学作曲専修にて廣瀬量平氏らに師事。卒業後、ウィー ン国立音楽大学指揮科にてK.エステルライヒャー、L.ハーガー、湯浅勇治の各氏に師事。 1995年第44回ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。ABC国際音楽賞、ホテルオークラ 音楽賞、渡邉暁雄音楽基金音楽賞ほか、受賞多数。現在、京都市立芸術大学音楽学部指揮 専攻教授。東京藝術大学や国立音楽大学より特別招聘教授に招かれている。山形大学でも 公開講座を定期的に行うなど、後進の指導にも取り組んでいる。



京都市交響楽団

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞及び「第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任。さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリーントが就任。京響は今、新たなステージへ向けて、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上写真事務所 井上嘉和





デイヴィッド・レイランド ©BAKI



2024.8/23 金 から 発売! 第 694 回 定期演奏会

レイランドの「展覧会の絵」、フォン・オーエンのラフマニノフとモーツァルト

会 場 京都コンサートホール 指 揮 デイヴィッド・レイランド 独 奏 アンドリュー・フォン・オーエン(ピアノ)*

フライデー・ナイト・スペシャル 2024 10/11 金 午後7時30分開演〈休憩なし〉

由 目 ラフマニノフ:前奏曲集作品23から(ピアノ独奏)*

第4番、第2番、第6番、第5番 ムソルグスキー (ラヴェル編):組曲「展覧会の絵」

入場料 **⑤4,000**円 **△3,500**円 **⑤3,000**円 **⑥2,000**円 **№**1,500円 (舞台後方席)

曲 目 モーツァルト: ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K.488★ ムソルグスキー (ラヴェル編): 組曲「展覧会の絵」

入場料 **35,500**円 **4,000**円 **4,000**円 **3,000**円 **2,000**円 (舞台後方席)